

1人1台端末の効果的な活用に向けた取組

花筐小学校

1. はじめに

一昨年度より1人1台端末の活用が始まり、まずは「毎日使ってみよう」というところからスタートし、Teamsやメタモジを中心に行事や授業の中での活用を行ってきた。二年目は、児童と教員のみならず、児童と児童を含めた双方向の活用を通して、児童の深い学びにつなげるためのICTの活用について模索してきた。今年度はさらに研究を進め、個別最適な学び、協働的な学びに向けて、さらに活用の可能性を探り、タブレット研修会や授業実践報告会を通して、授業改善や教員のスキルアップに取り組んだ。今年度の取り組みを振り返り、これからのICTの効果的な運用について考察する。

2. 本校のICTを活用した授業実践

(1) 「個別最適な学び」に生かす

① 学習者用デジタル教科書を活用した個別学習

高学年の外国語科や算数科において、学習者用のデジタル教科書の活用を行っている。文字と図表だけの紙媒体だけでなく、動画や音声のコンテンツがあるデジタル教科書を併用することで、児童の理解を助け、深い学びにつなげることができた。



② 教科書のQRコード等を活用した動画の活用

教科書やドリルに掲載されているQRコードをタブレットで読み取ることで、動画や音声を通して、一人一人の学習状況に応じた個別学習を行うことができる。家庭学習でも活用することができ、学習のポイントを“いつでも”“どこでも”“何度でも”確認することができるので、個別最適な学びにつなげることができた。



(2)「協働的な学び」に生かす

①グループ機能の活用した協働学習

メタモジのグループ機能を活用して、班で協力して新聞作りや発表資料作りを行った。個人の意見がグループに反映されやすかったり、教師が各グループの学習の様子をリアルタイムで確認してコメントを返すことができたりするなど、双方向的な学びを行う上で効果をあげることができた。



②共有機能を活用した発表

調べたことをグラフにまとめ、画面に表示して全体に発表することにより、学習内容の理解を深めたり、表現力を向上させたりすることができた。また、短時間に多くの内容を提示することができるので、効率よく意見の交流を行うことができた。



3. ICT を授業に生かすための教員研修

ICT を効果的に活用し、児童の学びを深めさせたり、個別最適な学びや協働的な学びを充実させたりしていくためには、教員のスキル向上が不可欠となってくる。今年度は、教員の ICT を活用した授業スキルを向上させるために、現職教育等の時間に教員研修を行った。以下、本年度の取組である。(★Teams の共同作業サポートツールを活用し、情報共有を行った事例も含める)

- 4/6 (水) Windows タブレットでの Teams 会議の始め方★
- 4/12 (火) 学習者用デジタル教科書(算数・外国語)活用方法★
- 6/6 (月) 指導主事訪問
- 7/25 (月) 今立小中連携教育研究会 (ICT 活用)
- 8/2 (火) デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化★
- 11/8 (火) 県タブレット端末活用事例集の活用の仕方★
- 11/25 (金) まなびポケットおよび MEXCBT について★
- 1/6 (金) 現職教育「ICT を活用した授業実践報告」

4. 成果

本年度の取組の成果としては、学習用デジタル教科書や QR コードの活用により、一人一人の学習状況に応じた個別学習を行う活動の幅

を広げることができたことである。また、協働で資料を作成したり発表を行ったりする場面では、児童や教員がタブレットの操作に慣れてきたことにより、グループ機能や共有機能をこれまで以上に上手く活用して学習活動を行うことができたと感じている。これまでの三年間の取り組みを土台として、今後は ICT を活用した学習活動のさらなる充実や、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組み、教員全体の授業力の向上を目指していきたい。